

モザンビークとタンザニアにおけるキャッサバの生産・加工・消費の現状と課題－効果的な支援策とは－

平成 22 年度農林水産省補助事業「途上国支援のための基礎的情報整備事業(調査研究事業)」
自給的作物研究報告会開催のご案内

キャッサバは日本ではなじみの薄い作物であるが、世界の生産量の半分以上がアフリカで生産されており、アフリカでは小麦、トウモロコシに次いで重要なでんぷん源である。しかし、これまで貧者の食べ物として国際的な研究開発が遅れ、「無視された食べ物」と称されてきた。近年、国際熱帯農業研究所 (IITA) などが中心となりキャッサバの研究開発、普及が進められてきたが、その主な対象はナイジェリアやガーナといった西アフリカ諸国であり、東アフリカ諸国のキャッサバ生産に対する研究、支援はまだ十分に進んでいるとは言えない。

そこで本事業では、東アフリカ諸国の中でもキャッサバが自給作物として重要な位置をしめるモザンビークとタンザニアにおいて、その生産から加工、消費に至るまでを包括的に調査。両国におけるキャッサバ生産は単に農村部における自給作物として位置づけられるのか、都市部における加工品の消費や飼料用、工業原料としての使用はどの程度まで進んでいるのかを明らかにし、両国の現状と課題をご報告致します。貧困削減や生産者の生計向上へ資するためには、キャッサバ生産の発展に対してどのような援助策が考えられるのかも合わせてご報告致します。



本報告会后 (15:30~17:15) に「エチオピアとタンザニアにおけるコーヒーの生産・加工・流通の課題と現状－貿易のための援助と対日輸出への貢献－」を合わせて開催致します。ご参加ご希望の方は Fax、Email でお申し込みいただきますようお願い致します。定員 50 名。参加無料。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

報告内容:

- 1) 農林水産省担当官より事業趣旨説明
- 2) キャッサバの生産・加工・消費と段階的発展
- 3) モザンビークにおけるキャッサバの生産・加工・消費の現状
- 4) タンザニアにおけるキャッサバの生産・加工・消費の現状
- 5) 両国のキャッサバ生産の課題と支援策
- 6) JICA アフリカ部ご担当者より近年の援助動向について
- 7) 質疑応答

お問い合わせ先:

プロマーコンサルティング 吉田里絵/川江心一

TEL 03-6222-0003 FAX 03-3206-0004

info@promarconsulting.com

開催日時: 2011年3月18日(金) 13:30~15:15
開催場所: 千代田区大手町 1-1-2
りそな・マルハビル 18階
TKP 大手町カンファレンスセンター



申し込み用紙

モザンビークとタンザニアにおけるキャッサバの生産・加工・消費の現状と課題
—効果的な支援策とは—

平成 22 年度農林水産省補助事業「途上国支援のための基礎的情報整備事業(調査研究事業)」
自給的作物研究報告会参加申し込み

2011 年 3 月 18 日 (金) 13 : 30~15 : 15

TKP 大手町カンファレンスセンター

申込日	2011 年 月 日
参加希望 報告会	両方またはどちらかに丸印 1. 自給的作物研究報告会 (キャッサバ) 13:30~15:15 2. 高収益農業研究報告会 (コーヒー) 15:30~17:15
会社名	
部署・役職	
お名前	
TEL	() —
FAX	() —
Email	

FAX 送付先 : 03-3206-0004 プロマーコンサルティング 吉田/
川江宛

Email 送付先 : info@promarconsulting.com